

SDGs for School
produced by Think the Earth

21

発信することに挑戦してみようということになりました。

今回は、講師を務めてくださったのは曹洞宗総合研究センターの宇野全智さん。教えてくださった禅の教えは、歴史の授業で馴染みの

ある、鎌倉時代の禅僧である道元(道元禅師)が残した教えの一つで、「典座教訓」というものでした。典座とは、禅寺で「食」に関するお仕事(役職)のことで、道元が修行の旅をしている中で、修行僧たちの食事を作ることに誇りを持ち、一切の手を抜かず、みんなのために食事を作ることこそ自分の修行であると話す老いた典座との出会いに心動いた道元が、毎日の「食」の重要性を伝えてくれている内容でした。

忙しい時は食事を抜いたり、インスタントの食事でサツと済ませてしまう現代の私たちにも通じる教訓が詰まっていたのですが、この教えとSDGsがどう関係するのか。そのことを編集学生たちが

それぞれの言葉でまとめてくれました。禅の教えとSDGsは本質的に親和性があります。そのことが伝わりと幸いです。(山藤旅間)

一超・文化祭のお知らせー
「みらいをつくる超・文化祭(第4回)」とは、学校の枠を超えて、持続可能な未来を目指し、学生と大人が一緒になって、既存の文化を超えていくことを目指した本気の文化祭です。学生たちと一緒に活動したい企業やNPO、すでに行動をしている学生、そしてこれから行動してみたいと思っ





○ののは
東京都
・
中学2年生

「目の前の事をないがしろにしては、修行はつとまらない」「一つの物事を意識してみると、世界は修行で溢れている」という言葉が印象に残りました。

この言葉を聞いてから、今までの自分の人生を振り返って丁寧に考えてみると、これも修行なのでは？と感ぜられるものがいくつもありました。その一つが、小学校時代から習慣になっている、授業の開始や終了の際の起立や礼です。休み時間からの気持ちの切り替えのためや、先生に対する敬意を表すために行っていると思っ

ていたが、でも最近、黒板を始めとする「教具」に対しての「お世話になります」という気持ちや、「ありがとうございます」という感謝の気持ちを伝えるものでもあのだという見解もあることを知りました。授業中はもちろんですが、授業の開始前から、「気持ち」の修行は始まっているとも言えるのではないのでしょうか。日常生活の中にも修行は潜んでいるのです。これはSDGsに関しても同じと考えます。SDGs達成を目指そうと意識的に行動をするのではなくて、日常生活を送る中で関わる一つ一つのことに感謝したり、関わる人の想いを想像するだけで、自分の次の行動が自然と変化するのではないのでしょうか。そしてこ

の小さな変化こそ修行であり、自然とSDGsへの意識に繋がっていくような気がします。自分の考え方一つで、修行になることを学びました。SDGs達成という大きな夢に向かうためにも、まずは日常生活においての考え方から少しずつでも変えていきたいです！



○るーな
新潟県
・
中学3年生

私は「典座教訓」のお話で、仏教、曹洞宗の身近さを感じることができました。「修行」というと、どうしても「坐禅」や「お唱え」などのイメージを持ってしまいがちです。道元禅師もそのような考えを





かつては持つていたのです。しかし、私たちの意識を深めて、私たちは日常の中で修行をして自分の力をつけることができる、と学びました。そこから、人間の意識の仕方・物事の捉え方などで、日常の全てのこと、特別なことでも、意味のある尊いものになると思いました。

『典座教訓』は、料理を作る際の教えとして書かれています。私たちがSDGsに取り組み上でも当てはめることができるのではな

いでしょうか。つまり、どんなにスケールの小さいこと、身近すぎるように思える行動も、世界を救うようなスケールの大きいことにつながるので。例えば、出されたご飯は残さず食べる。みな

さんの中にはすでに毎日できているという人もいます。しかしこの行動をすることで、たとえば一人100gでも確実に食品ロスを防ぐことができているのです。このような意識を持って、私も日常の自分の行動を改めて見つめてみたいと思います。

※食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。日本の「食品ロス」は年間、522万トンです。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料支援量（2020年で年間約420万トン）の1.2倍に相当します。食品ロスを国民一人当たりで換算すると、お茶碗約1杯分（約113g）の食べものが毎日捨てられています。

★貧困・教育・ジェンダーの問題を考える「布ナプキン作製プロジェクト」を継続しています！

8月に開催したイベントでは、環境負荷の少ないオーガニックコットンとアフリカの女性の貧困や教育の問題について学びました。そこから始まった、「布ナプキン作製プロジェクト」はイベントの参加学生や曹洞宗婦人会などに広がっています。個人・団体問わず協力してくれる方を募集します。

QRコード①で、ワークショップ開催報告を公開しています。

また、プロジェクトに関心がある方は、QRコード②のフォームよりご連絡ください。

